

こんにちは婦人会「さくら」です

6月も最終週です。早いもので今年ももう半年が過ぎてしまいました。梅雨の真っ只中ではありますが、暑い日が続いていますね。先日、婦人会さくらの仲間と鎌倉一泊の小旅行に行ってきた。紫陽花が見頃とあって、鎌倉はどこも大賑わい。人に埋もれ、咲く紫陽花に埋もれて・・・2日目はあいにくの雨でしたが、逆にしっとりとした紫陽花の美しさを引き立ててくれて、パッと見た瞬間「あー綺麗!!」。歴史と文化、自然を満喫して心も体もリラックスしてきました。



～婦人会・暮らしのエッセンス～

「虹にも雄と雌がある」ということを知っていましたか？

来月号にいかが？とメールをもらった。早速ネットで調べてみました。

『昔、中国では虹を龍に喩えていたことから虹霓こうげいといい、雄を虹こう、雌を霓げいとした』。「虹」という字には虫偏がついています。虫には、爬虫類の意味があり、生き物には性別があるので龍である虹にも雄と雌があると考えたのだそうです。虹は、時々2本かかることがあり、色鮮やかな虹を「主虹」が雄、その上にかかる少し薄い色の虹を「福虹」が雌となるそうです。うーん難しい!! 虹は、自然な現象にも関わらず龍としてとらえたことが興味深く、さらに調べてみたらなんと、虹の色が7色と発見したのがニュートンだったようです。それまでは、3色または5色と考えられていたそうです。雨上がりの日、もし外に出ることがあったら空を眺めて見てください。もしかしたら虹がかかっているかもしれませんよ。さらにラッキーな人は、福虹が見られるかも。。

(インターネット引用)



婦人会「さくら」
平成28年6月28日
第173号